

58.-4.19



筑大図

# 日本語と日本文学

## 第一号

- 
- 「くに」の語源 ……………馬淵 和夫…(1)  
「聖家族」試解 ……………西原 千博…(10)  
山上憶良嘉摩三部作の成立……………岡内 弘子…(18)  
——「紅の面の上に」を中心として——  
記録体における形式名詞「由」……………小川 栄一…(28)  
同音語の用法——「温かい」と「暖かい」—— ……吉村 弓子…(47)  
西尾実国語教育論の探求……………桑原 隆…(57)  
——島木赤彦の教育論との関係について——  
日・タイ語のテンスとアスペクトの対照および教授法に  
関する一考察……………ラッチャニー・ピヤマーワディー…(左1)
- 

昭和 56 年 6 月

筑波大学国語国文学会



## 投稿規定

- 一、投稿論文は三十枚程度。
  - 二、次号原稿〆切は昭和五十七年二月末日。
  - 三、原稿送り先
- 干 305 茨城県新治郡桜村天王台一―一―  
筑波大学文芸・言語学系事務室内  
『日本語と日本文学』編集委員会

## 編集後記

筑波大学国語国文学会の機関誌「日本語と日本文学」第一号をお送りする。本学会を構成するのは、日本文学・日本語学・応用言語学・国語教育・日本語教育の五部門にわたるスタッフと在校生であり、また、本学会にかかわる卒業生や前スタッフであるが、本誌は広く国語国文学界にも開放されよう。第一号は、五部門全体に及ぶ編集を考え、一応学内から選んだが、次号からは自由な参加を期待したい。

昭和五十六年五月二十五日印刷  
昭和五十六年六月 一日発行 第一号

305 茨城県新治郡桜村  
干 筑波大学文芸・言語学系内  
編集・発行 筑波大学国語国文学会  
代表者 馬 淵 和 夫

発行所 (有) 笠 間 書 院  
101 東京都千代田区猿樂町二―一―五  
干 電話〇三(二九五)一三三(代)  
振替口座 東京 一五六〇〇二